

2025 年 10 月 22 日

各 位

平和不動産株式会社

2025 年 10 月 7 日開業「キャプション by Hyatt 兜町 東京」
令和 7 年度木材利用推進コンクールにて『林野庁長官賞』を受賞
～日本橋兜町・茅場町エリアにおいて KITOKI に続き 2 回目の受賞～

平和不動産株式会社（本店：東京都中央区、代表執行役社長：土本 清幸、以下「当社」）が、日本橋兜町・茅場町の街づくりの一環で開発を進め、2025 年 10 月 7 日に開業を迎えた「キャプション by Hyatt 兜町 東京」（以下「本ホテル」）が令和 7 年度木材利用推進コンクール（主催：木材利用推進中央協議会）優良施設部門において、『林野庁長官賞』を受賞しましたので、お知らせいたします。なお、当社が推進する日本橋兜町・茅場町での街づくりにおいて、木材利用推進コンクール優良施設部門での受賞は、2022 年の「KITOKI」での優秀賞に続き 2 回目となります。

本ホテルは、当社の「サステナブルなまちづくり」を体現するホテルとして、鉄骨と木造を組み合わせた木造ハイブリッド構造を採用し、環境配慮・快適性・木の美しさを兼ね備えた先導的事例です。さらに、国土交通省「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択され、都内ホテルとして初の「DBJ Green Building 認証（プラン認証）」も取得しており、木造建築の新たな可能性と高い環境性能が評価されました。

開業後も、運営者であるハイアットと連携し、環境・社会に配慮した取組みを継続することで、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



構造材の木造柱・梁が外部から認識できる外観デザイン



低層部の外装には焼杉や壁面緑化を採用



客室内の木柱や木梁を露出させるとともに、製材型枠を現し天井として利用し天井高さ約 3.3m の開放感のある木空間を実現

本ホテルの木材利用に係る特徴

① 地域材の活用と木材調達の工夫

- ・福島県産カラマツを構造用集成材として使用。（仕上げ材として、神奈川県産スギを使用）
- ・焼杉（広島産）、製材型枠（鹿児島産）など多様な地域材を活用。
- ・登録木材事業者との連携により、合法性を担保した調達体制を確立
- ・都心に集成材工場がない中でも、全国の加工・供給ネットワークを構築し、今後の木造都市建築のモデルとなる体制を実現。

② 木造化・木質化の技術的工夫

- ・木造・鉄骨・RCを組み合わせた木造ハイブリッド構造を採用。
- ・9～12 階は耐火集成材柱、3～8 階は非耐火の集成材間柱を使い分け、コストとデザイン性を両立。
- ・木構造の見附幅を統一し、美しい外観と施工合理性を実現。
- ・製材型枠を採用することで、工期を短縮しながら、天井木質化と高天井を実現。
- ・一般的な構造計算ルートで設計可能な汎用性の高い中高層木造手法を提示。

③ 環境負荷低減と資源循環への配慮

- ・木材使用による炭素貯蔵量は約 92t-CO₂（自動車約 138 台分に相当）。
- ・壁面緑化、焼杉外装、節水機器、全熱交換機などを導入し、省エネルギー化を推進。
- ・製材型枠の活用や施工計画時のペーパーレス化等により、廃棄物削減と 3R 活動を実施。
- ・竣工後に開催した見学セミナーでは約 1,300 名が参加し、木造建築の普及啓発に貢献。

④ デザイン・空間づくりの工夫

- ・構造材の木造柱・梁が外部から認識できる外観デザインとし、美しい木構造フレームで都市へ木の魅力を発信
- ・1・2 階に焼杉と壁面緑化を用い、兜町の歴史ある街並みに自然素材の温もりを融合。
- ・客室内部には木梁・柱（一部コーナー客室）・杉板天井を現しで採用し、心地よい木の空間を創出。

受賞のポイント

「日本橋兜町・茅場町のまちづくりの一環として整備された、地上 12 階建ての木造ハイブリッド構造による都市型ホテル。環境負荷を抑えながら、快適性・機能性・耐火性を両立し、木構造の魅力を内外装に生かした、都心における中高層木造建築の可能性を示す先導的事例。全国各地の工場との関係構築を図ることで、集成材工場のない東京都心においても、産地・樹種・強度などのニーズに合わせた安定的入手ができるインフラを整えた取り組み。」

令和 7 年度 木材利用推進コンクール 受賞施設等の概要

- ・ [令和 7 年度 木材利用推進コンクール 受賞施設等の概要](#)
- ・ [令和 7 年度 木材利用推進コンクール 受賞施設等の概要（PDF）](#)

木造利用推進コンクールとは

本制度は、木材利用推進中央協議会が平成 5 年（1993 年）より実施する全国規模の表彰制度で、特色ある木造施設・木質化施設（優良施設部門）および国産材の利用拡大に向けた企業の取組（国産材利用推進部門）を 2 部門で構成し、木材利用の拡大を図ることを目的としています。

- ・ [令和 7 年度 木材利用推進コンクール](#)

キャプション by Hyatt 兜町 東京について

「[キャプション by Hyatt](#)」は、金融街としての歴史と新しいカルチャーがとけあう東京・日本橋兜町に位置する、“人と人、人と街をつなぐ”セレクトサービスホテルです。東京メトロ茅場町駅徒歩 1 分、日本橋駅徒歩 2 分、東京駅からも程近い便利なロケーション。渋谷や表参道、銀座など人気のショッピングエリアや、成田・羽田両空港へのアクセスもスムーズです。

全 195 室の客室は、機能性と遊び心を兼ね備え、アートを通じて兜町の魅力を表現。旅人とローカルが自然に交わる“まちのリビングルーム”のような存在を目指し、ホテルの中心には誰もが気軽に立ち寄れるソーシャルハブ「Talk Shop（トークショップ）」を設けています。バーガーやクラフトビールを片手に、定期的で開催されるイベントに参加したり、偶然の出会いを楽しんだり。日本橋兜町という街の魅力を、あなたらしいスタイルで体感してみてください。

・本ホテル公式ホームページ

[「キャプション by Hyatt 兜町 東京」](#)



トークショップ内観



黒毛(KG)バーガー



本ホテル概要

ホテル名称	キャプション by Hyatt 兜町 東京
所在地	東京都中央区日本橋兜町 12 番 1 号
交通	東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅 徒歩 1 分 東京メトロ銀座線・都営浅草線「日本橋」駅 徒歩 2 分 東京メトロ半蔵門線「三越前」駅 徒歩 8 分
敷地面積	1,093.59 m ²
延床面積	9,977.66 m ²

階数	地上 12 階、地下 1 階、塔屋 1 階
構造	地上：鉄骨造（一部木造）、地下：鉄筋コンクリート造
客室	195 室
設計者	株式会社三菱地所設計
インテリア設計者	Mitchell & Eades（豪：ミッチェル アンド イーズ）
施工者	株式会社大林組

本ホテル位置図



※本リリース中の「ハイアット」とは、ハイアット ホテルズ コーポレーションおよびその関連会社を指す用語として使用されています。

本ホテルに関する今までのプレスリリース

- ・2022年1月27日付プレスリリース

「(仮称) 兜町 12 プロジェクト ハイアットの最新ライフスタイルホテルブランド「キャプション by Hyatt」に決定」

- ・ 2022 年 8 月 24 日付プレスリリース

「令和 4 年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)「(仮称) 兜町 12 プロジェクト」が採択」

- ・2023年4月19日付プレスリリース

「ハイアットの最新ライフスタイルホテルブランド「キャプション by Hyatt 兜町 東京」着工」

- ・2024年9月5日付プレスリリース

「「キャプション by Hyatt 兜町 東京」都内ホテルとして初の DBJ「Green Building 認証（プラン認証）」取得」

- ・2025 年 5 月 12 日付プレスリリース

「キャプション by Hyatt 兜町 東京」総支配人に山田 政和が就任

- ・2025年7月1日付プレスリリース

「訪れる街」から「滞在する街」へ 兜町・茅場町エリア賑わいの核となるホテル
東京初進出！「キャプション by Hyatt 兜町 東京」竣工

2025 年 10 月 7 日(火)開業決定、7 月 8 日(火)より宿泊予約の受付開始」

- ・2025年9月25日付プレスリリース

[「～10月7日開業予定「キャプション by Hyatt 兜町 東京」を起点に街を巡る～ デジタルツインを活用した日本橋兜町・茅場町エリアの街歩きゲームを開発」](#)

・2025年10月7日付プレスリリース

[「東京初進出・世界で4軒目となるハイアット新ブランド](#)

[「キャプション by Hyatt 兜町 東京」2025年10月7日（火）グランドオープン
日本橋兜町・茅場町開発の核となるホテルに、“訪れる街”から“滞在する街”へ」](#)

・2025年10月15日付プレスリリース

[「「キャプション by Hyatt 兜町 東京」が2025年度グッドデザイン賞を受賞」](#)

本ホテルにおける環境認証の取得およびアワード受賞について

- ・ 令和4年度 サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）
- ・ 2024年度 DBJ Green Building（プラン認証）
- ・ グッドデザイン賞 2025
- ・ ウッドデザイン賞 2025（ライフスタイルデザイン部門）



DBJ Green Building
2024 Plan



GOOD DESIGN
AWARD 2025

ウッドデザイン賞受賞



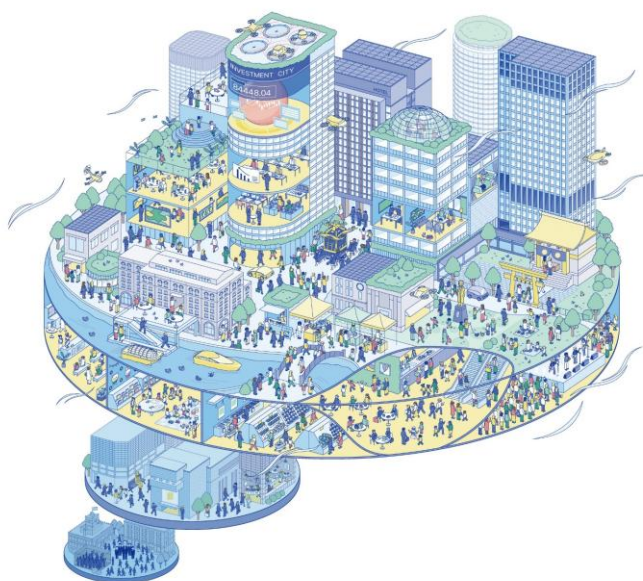
JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2025

日本橋兜町・茅場町街づくりビジョン 2040

NIHONBASHI KABUTOCHO & KAYABACHO VISION 2040

投資を、そして感性を一步先へ。
この街から、新しい風を。

淡路島一帯を囲む株式市場の街は、
日本経済の中心で歴史を紡いできた。
この街がまとう「コトはじめ」の文化を未来につないでいくために、
これからの日本橋兜町・茅場町は、投資と成長をライフスタイルに変えていく。
金融をアップデートし、国内唯一のインベストメント・シティへ。
そして、さらにひろがりのある街へ。
もっと投資をカジュアルに、もっと街をカラフルに。
多彩な個性が行き交い、クリエイティビティが高まる。
化学反応が起こり、大小さまざまなイノベーションが生まれる。
ビジネスだって、遊びだって楽しめる場を、みんなで作ろう。
人々の感性を刺激する、世界のどこにもない場づくりを、この街から。



●日本橋兜町・茅場町 情報発信サイト

Kontext: <https://kontext.jp/>

兜 LIVE!: <https://kabuto-live.com/>

FinGATE: <https://www.fingate.tokyo/>



兜 LIVE!



会社概要

当社は、我が国の金融マーケットの中核的機能・役割を担う東京、大阪、名古屋、福岡を始めとする証券取引所ビルのオーナーとして、1947年に設立され、場づくりを積み重ねることで街を彩ってきました。平和不動産グループの仕事に共通する根源的な価値は、さまざまな場づくりを通して、人々を惹きつけ未来に豊かさをもたらすこと。私たちはグループ一丸となって、魅力的な場づくりを展開します。

会 社 名：平和不動産株式会社

設 立 日：1947年7月

代 表 者：代表執行役社長 土本 清幸

本 社 所 在 地：東京都中央区日本橋兜町1番10号

会 社 H P：<https://www.heiwa-net.co.jp/>

以 上